



7月の園だより

令和5年7月1日
目黒区立中央町保育園 園長

梅雨入りし蒸し暑い日が続いていますが、梅雨の晴れ間には園庭から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。園庭のプランターで育てている夏野菜は、子どもたちの毎日の水やりや雨の恵みを受けて日を追うごとに生長しています。3歳児が園庭で遊んでいた時に、プランターで育てている枝豆の莖から、小さな枝豆がなっているのを見つけました。「枝豆ができてるよ」「ちいさくてかわいい」と言いながら、眺めています。「もっと大きくなったらたべようね」と自分たちが育てた枝豆を食べる日を心待ちにしていました。また、先日は4歳児が食育活動でピーラーを使い、ニンジンの皮むきをしました。ピーラーの持ち方やニンジンの押さえ方を栄養士に教わりながら、真剣な表情でピーラーを握っています。緊張してピーラーをなかなか動かさない子や、慣れた手つきで進める子など様々でしたが、皮をむいたニンジンに触り「やわらかくなったね」「はやくたべたいな」と嬉しそうに話していました。自分たちで食べる野菜を育て下ごしらえの手伝いをしていく中で、食事ができるまでに多くの人に関わっていることを知り、食事をする事への感謝の気持ちを育んでいければと思っています。

5月、6月は全クラスの懇談会を行いました。お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。園での生活をお知らせし、ご家庭での様子をお聞きしながら保護者の皆様と日々の子育てについて情報共有ができ有意義な時間になりました。これからも子どもたちが安心して楽しくいきいきと過ごせるよう保育を進めていきたいと思ひます。

今月の予定

プール開き（3・4・5歳児）
プール開き（予備日）
夏まつり（午前中に子どもたちと職員で行います）
七夕集会（3, 4, 5歳児）
眼科検診（全園児）9:30~

中旬 身体計測 避難訓練

子どものつぶやきコーナー

- ・緑地公園での散歩中、大きなミミズを見つけ、Aさん「先生、“みみじゅ”いたよ」（あまりの大きさに興奮していたようでした。）
- ・Bさん「先生、あんぽぼあった〜」と持ってきたのは“たんぽぼ”。（発見したものをすぐに共感したかったようです。）
- ・ままごと中、保育士「ペイペイで払いますね」子ども「ハイパーイ」（さようならの挨拶と思ったようです。）

健康教育の様子

子どもたちが毎日元気に過ごせるように、また自分の体を知り守ることを伝えるために健康教育をしています。5月に、もみじ組とぼぶら組には生活リズムの話をしました。いちよう組は、クラスの担任から排便後にお尻の拭き方を教えてほしいとの要望があったので、まずは排便のメカニズムから、どのようにすれば良い便が出るか本で説明しました。そして「トイレットペーパーは3回折りたたんでお尻を拭こうね」と話し、実際にトイレットペーパーを折りたたんでもらいました。みんなの前でやってくれた子は緊張した様子でしたが、3回きれいに折りたたんでちぎることができ、みんなから拍手をもらって照れ笑いしていました。

良い便を出すために早寝早起きをすることやごはんをしっかり食べること、トイレの時間を作ること、よく遊ぶことを伝え、毎日元気に過ごせるようにご家庭とも連携して進めていきたいです。



健康教育 その後の様子

健康教育の後、園でも排便後に自分で“トイレットペーパーを3回折りたたむ”をやってみる姿が見られています。家庭でも大人を呼んで拭いてもらっていたのが、自分で拭こうとするようになったとのお話もありました。



“プライベートパーツ”とは“からだ観”

自分だけが持つからだ 自分だけがわかる感覚 自分だけが触れていいからだ という意味です。乳児期・幼児期から自分のからだを知り、守っていく意識を育てていくことが大事だとされています。

幼児クラスは今年度、シャワーとプール時にラップタオルも使用できるようにしていきます。



感触遊び（泥んこ・小麦粉粘土）の様子を紹介します



もみじ組（3歳児クラス）

砂場で「ドリル」と言いながら工事に見立て、思い思いの玩具で穴を掘っています。「ちょっと入れてみよう」と穴にそっと手を入れ始めました。少し湿った土の感触に思わず「ふっふ」と笑みがこぼれると「水持ってくる」と水を汲んできて穴の中に勢いよく流し入れました。そして、また穴にそっと手を入れて試しています。それからは顔にかかるくらい勢いよくバシャバシャしたり、ぐちゃぐちゃと握ってみたりと泥のとろとろした感触を楽しんでいました。すると、他の子も水の入った穴を覗いて「いい？」と聞くと「いいよ」と小さな穴に3つの手が入りました。水の中で友達とドロドロの感触の中、指をもそもそと動かし合うと「何だ」「何かいる」と想像が始まります。「どうしたの」「何がいたの」と保育士が聞いてみると「うん、なんか虫じゃない」「へびだよ」と中に蛇がいると思って慌てて手を引っ込める子もいます。腕や顔も泥んこになりながら蛇のいる穴が2つ3つと増えていました。

これからもドロドロ、ひんやりなど泥んこの感触を全身で味わっていきたいと思います。



たけのこ組（1歳児クラス）

たけのこ組は部屋で小麦粉粘土で遊んでいます。最初は小麦粉粘土になかなか触れず見ている子もいましたが、保育士や友達が遊ぶ姿に“楽しそう”と感じて触れるようになりました。小麦粉粘土を左右に引っ張ると思ったより伸びなかったり、力いっぱい引っ張ると途中からちぎれたりすることもあります。たくさんちぎれた粘土を見て嬉しそうに笑っている子もいました。指で粘土を押しみると指の跡が付くことに興味を示し、次々に跡をつけては「あー」と指さして教えてくれる子もいます。ちぎった粘土を上重ねていた子が「ケーキ」と言って自分のイメージを見立てて「いちご」「ぶどう」と次々にトッピングをして飾りつけをしています。保育士が「おいしそうね」と声を掛けると「どうぞ」と勧めてくれたり、「アイスクリーム」と渡してくれたりして作ったもので楽しくやりとりしています。小麦粉粘土のやわらかい、ひんやりとした感触をたくさん楽しみながら、表現したことに共感して一緒に楽しんでいきます。

